

2022年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第1回 4月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (西岡)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年より多く、平年より少なかった。

前年	2021年4月19日	(7点の平均)	1.2 個/m ³
今回	2022年4月18日	(7点の平均)	8.1 個/m ³
			※4月下旬の平年値
			12.2 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年より多く、平年並みであった。

前年	2021年4月19日	(7点の平均)	0.1 尾/m ³
今回	2022年4月18日	(7点の平均)	0.5 尾/m ³
			※4月下旬の平年値
			0.5 尾/m ³

○プランクトン調査

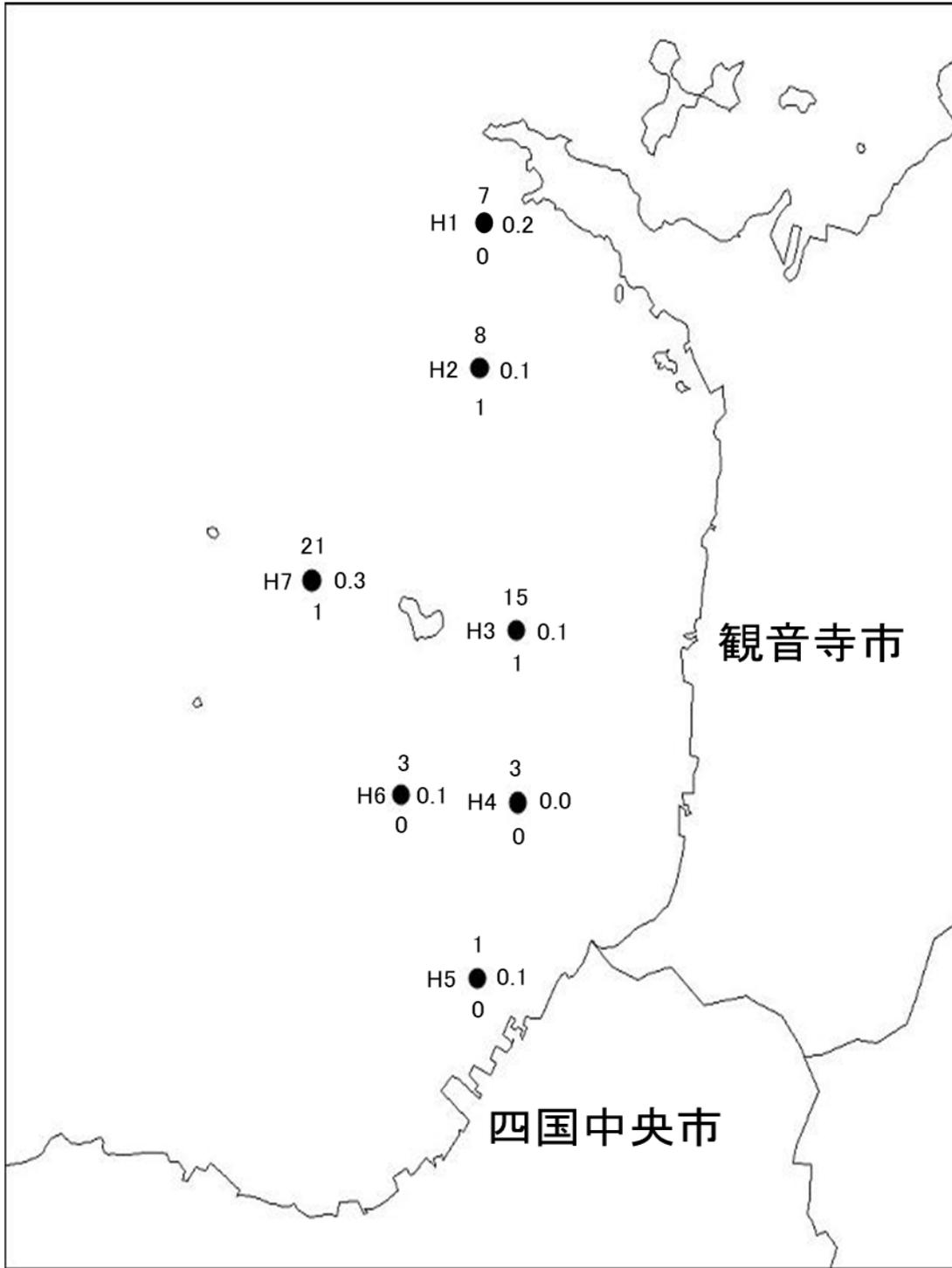
プランクトン量ではすべての定点で夜光虫(ノクチルカ)が優占した。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は前年より多く、平年より少なかった。

○カブトクラゲ調査

本調査での出現はなく、前年と同程度であった。

次回の調査は4月28日(木)の浅定調査に合わせて実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2022/4/18)

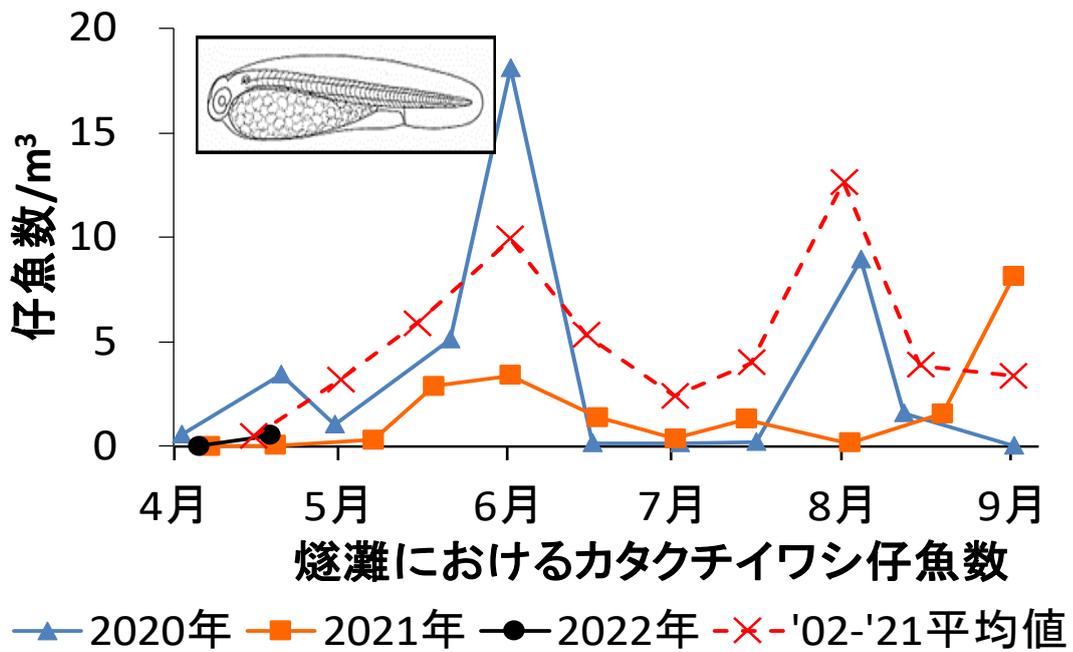
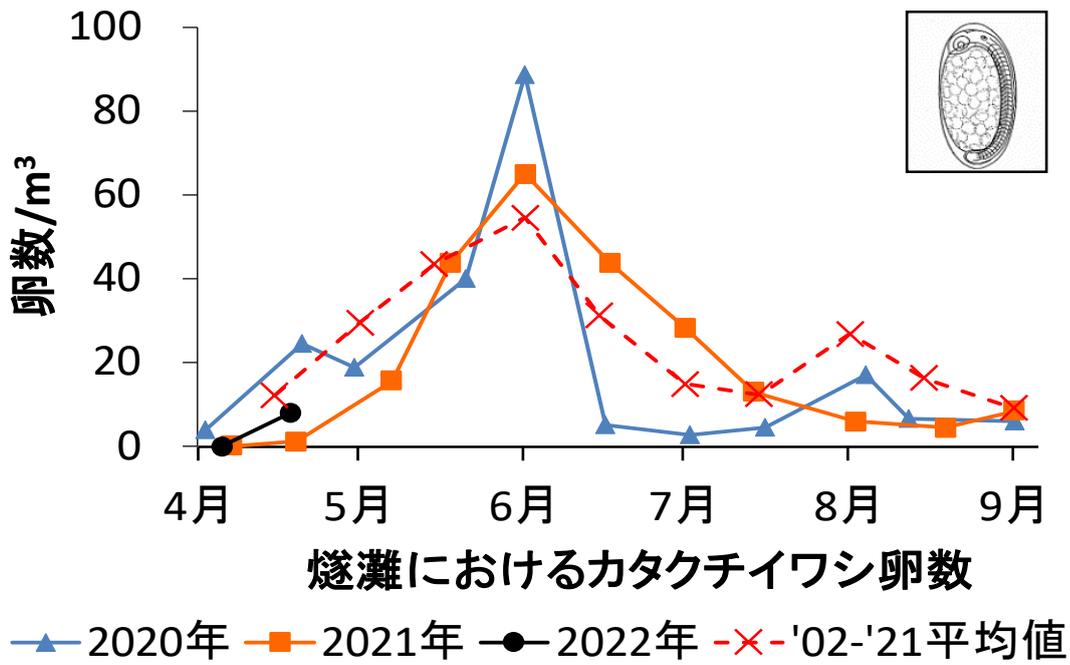


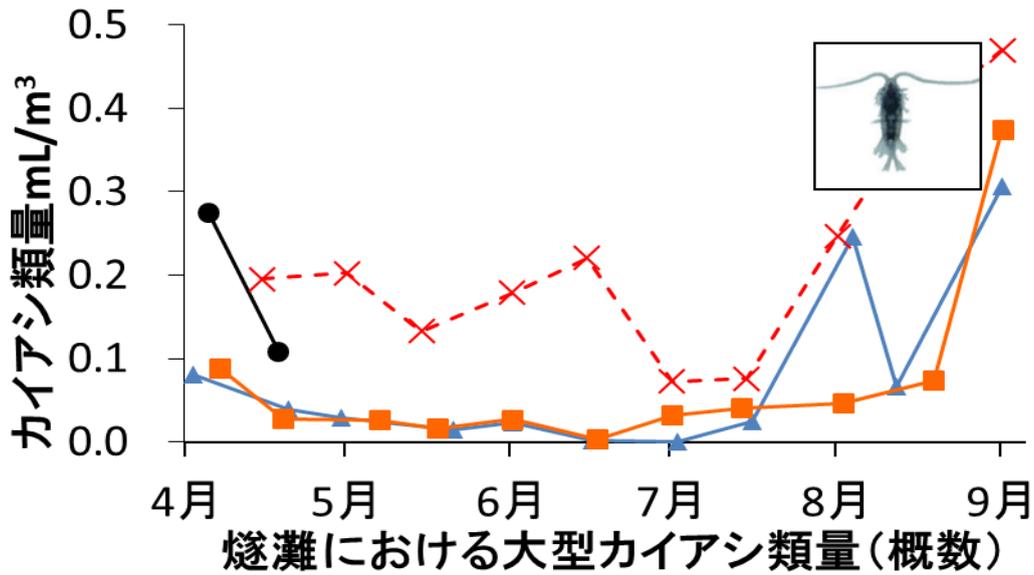
●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

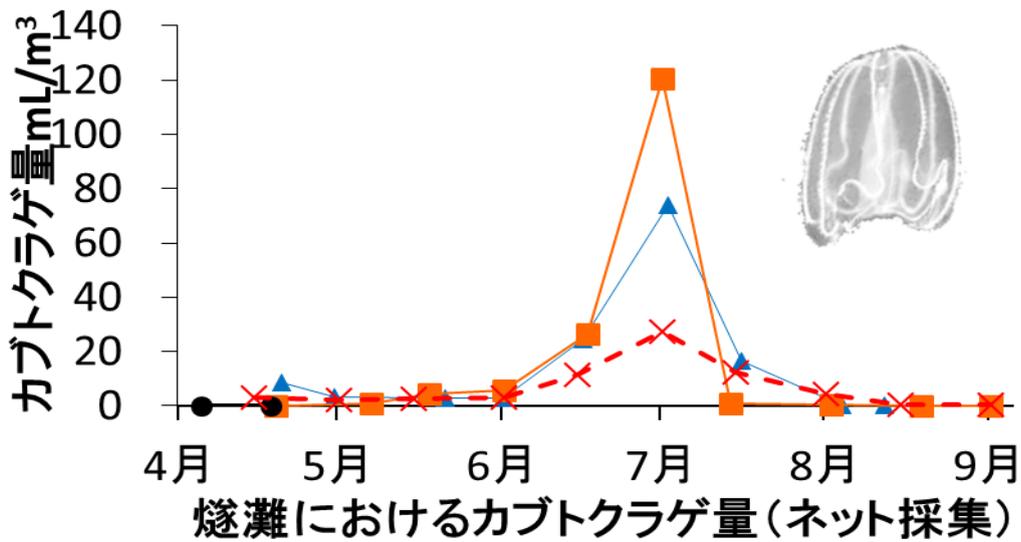
※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵密度
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類密度
5 ← 仔魚密度





▲ 2020年 ■ 2021年 ● 2022年 × '02-'21平均値



▲ 2020年 ■ 2021年 ● 2022年 × '02-'21平均値

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。

2022 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(1回目)

調査日: 2022/4/18

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	12.6	16	0	2	0	0	0
H2	20	14.1	18	0	3	3	0	0
H3	20	14.9	41	0	1	2	0	0
H4	20	15.0	9	0	0	0	0	0
H5	20	15.2	4	0	1	1	0	7
H6	20	14.2	8	0	0	0	0	0
H7	20	14.6	59	0	5	4	0	0
平均		14.4	22	0	2	1	0	1

※卵稚仔数は採集数を示す。